

登録コード	SSF17500	開講年度	2026				
授業題目	深部地下圏微生物論					担当教員	浦井 暖史
英文授業名	Deep biosphere					副担当	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	不定期		
講義室						備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】					⇔	【授業の達成目標】
	2 4 SSカリ・理学						
	【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					⇔	深部地下圏における生物を介した物質循環について体系的に考察することができるようになる。
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学						
	【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち、その妥当性を理論的に説明し、議論する能力					⇔	深部地下圏における生物を介した物質循環について体系的に考察することができるようになる。
(2)授業の概要	深部地下圏における微生物生態学について、特に微生物を評価する手法に関して重点的に講義を行う。また、微生物が置かれた環境を体感するため、野外調査による実習を行う。						
(3)授業のキーワード	深部地下圏, 微生物生態学, 環境動態解析, 同位体比分析						
(4)授業計画	4月下旬～5月上旬頃に初回授業を行い、次回以降の日程は受講者と予定を調整し決定する（全5回程度を予定）。また、1泊2日程度の野外実習を予定している。						
(5)成績評価の方法	全講義に出席した者を評価対象者とする。 授業内での課題で評価する。詳細については初回講義で説明する。						
(6)成績評価の基準	以下の2点を評価の基準とする。 1. 授業に対する理解度 2. 自身の研究に対する理解度と伝える力 90点以上：秀（S）専門用語を交えながら自身の解釈や意見を適切に説明できる 80点以上：優（A）専門用語を応用した説明ができる 70点以上：良（B）適切な専門用語を交えて説明 60点以上：可（C）内容を正しく説明 59点以下：不可（D）						
(7)事前事後学習の内容	微生物に関する基礎知識を事前に予習しておくこと。 授業では幅広い内容を扱うため、十分に復習しておくこと。						
(8)履修上の注意	高校生物および高校地学の内容を理解できていることを前提とした講義を行う。 理学部開講の「環境基礎理論」および「微生物代謝論」を履修していること。 なお、受講希望者は履修登録前に担当教員に受講希望である旨をメールで連絡すること。事前連絡なしで履修登録した場合は不受講扱いとなる。						
(9)質問,相談への対応	随時メール（uraia@shinshu-ua.cjp）および対面(理学部C棟603)で対応する。 対面での質問や相談を希望する場合は事前に予約することを推奨する。						
【教科書】	特に指定しない。						
【参考書】	適宜資料を配布する。						